

PROFILE

1949年阿蘇市生まれ。
長女と長男をもうけ、
現在は夫と長女との3
人暮らし。



人の笑顔が大好き。
笑顔がもっと増える
まちにしたい

特定非営利活動法人おーさぁ
健軍くらしささえ愛工房

熊本市東区栄町2-15 県営健軍団地1 階
TEL : 096-214-0003
E-mail : ogsaa-npo@gaea.ocn.ne.jp
URL : http://www.kengun.net/osa/panfu/

2011年	1989年	1981年	1976年	1972年	1968年
活動を開始	障害者福祉センター勤務となる	総務主任に就任その後係長・課長を務める	第2子出産	第1子出産 出産後6週間は仕事復帰	社会福祉協議会に就職

輝きの軌跡
宮川いつ子さんの
キャリアストーリー

取材担当
熊本学園大学2年
平山真子



—主な仕事内容を教えてください。
宮川 県営団地の1階1フロアを活用した、日本では数少ない多機能・地域密着型の福祉施設「健軍くらしささえ愛工房」を運営しているのがNPO法人「おーさぁ」です。私は施設長として、来客や県内外の視察の対応をはじめ、施設の管理全般、人事、労務関係などを管理しています。
—「おーさぁ」の活動は多岐にわたっていますね。
宮川 「おーさぁ」はデンマーク語が語源で、全ての人が社会で共生していく、ノーマライゼーションという意味があります。子育て支援、介護事業、若者就労支援や配食サービスなど、取り組んでいる事業の多くは、地域のニーズに添っているうちに自然と増えたものです。私自身、育児や介護と仕事を両立してきて大変だった思いや経験があります。ですから、育児や介護をする人たち、就労の悩みを抱える苦労も自分のことのように感じるのです。このような問題を地域のみなさんと共に解決していきたいと考えて取り組んでいます。例えば就労の支援が必要な方が多いという課題があれば、地域の商店会と協力して就労経験ができる場所を用意する。また、働くお母さん

が多くなれば親子の触れ合いスペースで一時的預かりができるようにする。課題を抱える人たちと多くの人と交流することで、問題解決の糸口が見えてくることがあります。そのために、人脈や交流を活用しています。
—活動を通し、どんな地域になっていけばいいと思っていますか？
宮川 行政にできないことを補うのがNPOです。行政に求めるだけでなく、自分たちにできることを考え行動することが最善の方法だと考えています。人の笑顔が大好きなので、笑顔がもっと増えるまちにしていきたいですね。具体的には、地域の交流の場を増やしていくこと。そして、現在働かなくても働けない人の支援のために、NPOとしてもっと協力できる環境や見通しを作っていくことも目標にしています。

